

静観台グループ例会

於：幡多小学校会議室 2000. 5. 31

参加者 高松（仁美小） 松本（国府小） 田辺（福浜小）
八谷（幡多小） 福井（伊島小）

〔リードスイッチモーター〕 高松

どんどん発展中の高松先生のリードスイッチモーターですが、今週は磁石がネオ磁石（ネオジウムのこと？）に変更になりました。このネオ磁石は、文房具屋さんで買ったマグネットクリップを分解して取り出したもので、350円のクリップから4つ取れるそうです。見た目はネオジウムと同じで性能もかなりの物なのですが、値段が安い。そう言えば前回の例会で福井が持ってきたマグドロン（磁石にすいつくスライムのおもちゃ）にも同じような磁石が2個ついておりましたな。このネオ磁石は小さくて軽量なので回転の加速がつきやすく、また強力なので回転速度も速くなっています。また回転盤の上下に磁石をつけることで接着の必要がなく、自由に場所を動かせるというのも大きなメリットだと思います。



〔炎色反応〕 倉橋（資料参加） 実演：八谷

チョークに液体をつけ火を近づけると、怪しげな緑色の炎がでます。この液体の正体はメタノールにホウ酸を溶かしたもので、簡単にできます。



〔ナンジャイロ〕 倉橋（資料参加）

増田屋コーポレーションというメーカーが出している電動ジャイロで箱に入れると箱のまま立ってしまいます。



〔セイロンベンケイソウ〕 松本

教育センターでわけてもらったセイロンベンケイソウを松本さんが栽培しています。葉っぱから不定芽を出して増えるこの植物の面白さを子ども達に伝えたいですね。

〔テレパシーボックス〕 田辺

今回の田辺先生の手品は不思議な箱を使ってランプを当てるというものです。磁石がうまく利用されています。



〔世界一簡単なモーター〕 福井

電池1個、磁石1個、釘1本、導線1本、たったこれだけの材料でモーターが作れます。しかも、製作時間はわずか5秒！ これよりも簡単なモーターを私は知らない。ポイントはネオジウム磁石の表面のニッケルが電気を通すということでしょう。

〔カプトムシパック〕 福井

カプトムシがプラボトルに入って売られています。さなぎの様子がよく観察できます。